

日本イギリス哲学会会員の皆様および関係者の皆様

## 令和2年3月の第44回総会・研究大会の延期について

令和2年2月28日

日本イギリス哲学会会長 一ノ瀬正樹

平素より日本イギリス哲学会の活動にご協力をいただきまして、感謝申し上げます。

さて、皆様すでにご存じかと存じますが、現在世界的な規模でコロナウイルス感染の問題が発生しており、予断を許さない状況になっております。日本政府においても、令和2年2月24日付で厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議から、「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針の具体化に向けた見解」が発表され、教育機関等に対して「それぞれの活動の特徴を踏まえ、集会や行事の開催方法の変更、移動方法の分散、リモートワーク、オンライン会議などのできる限りの工夫を講じるなど」の協力が求められています。また、2月27日には安倍首相が、3月2日から春休みまで小中高校を臨時休校にするよう、異例の要請を行うに至りました。

こうした現況に鑑みて、理事会および事務局の緊急審議を踏まえて、苦渋の判断ではありますが、日本大学商学部において開催が予定されていた日本イギリス哲学会第44回総会・研究大会を延期する、ということを決断いたしました。実際、このまま研究大会を開催した場合、当学会が感染クラスターになってしまう危険性を考慮せざるをえない状況です。なお、延期に関して時期は未定です。場合によっては「中止」ということもありえますこと、ご承知おきくださいませ。

つきましては、関係者の皆様には、移動手段や宿泊に関しまして、早急に「キャンセル」していただけますよう、お願いいたします。そして、キャンセル料を支払った場合、証拠書類を保管してください。

また、総会にて行うべき、予算案や人事案件などの会員による承認は、新年度の学会運営に不可欠なので、総会の議案書などを会員に個別送付し、会員からの承認を得るよういたします。

その他の措置（個人研究報告などの業績としての認定など）は追って通知いたします。

今回このような事態に相成りましたこと、開催校である日本大学商学部の瀧田先生をはじめとする関係者の皆様、そして提題や発表そして司会をしていただく予定であった皆様方には、心よりお詫び申し上げます。不可抗力的な要因による異例の決定であったことをご理解いただけますならば幸いに存じます。